

福 利 厚 生

第1節 概 要

教職員の福利厚生については、教職員の生活安定と福祉向上を目指し、県教育委員会、公立学校共済組合、(財)福島県教職員互助会の三者が緊密な連携を保ちながら、福祉の増進を図った。

短期給付関係では、現金給付に関する改正(出産費及び配偶者出産費の最低保障額が「10万円」を「15万円」に、埋葬料及び家族埋葬料の最低保障額が「5万円」を「7万円」に、会員死亡弔慰金が「50万円及び1万円の供花」を「60万円」に改正、子供の死亡弔慰金「2万円」を新設)が実施された。また、昭和56年5月1日から被扶養者認定基準が70万円から80万円に引き上げられ、新たに廃疾年金受給者・公的年金受給者で65歳以上の者を被扶養者とする場合は、年間の収入が120万円未満であれば認定されることとされた。

保健・厚生事業においては、教職員の健康管理を重視する立場から、新しく1日ドックを加え充実を図った。

教職員住宅の整備については、県教職員住宅として会津若松市に鉄筋コンクリート造1棟24戸を建設し、市町村教職員住宅についても公立学校共済組合資金により4町村に6戸建設された。

保養施設については、公立学校共済組合飯坂保養所「あづま荘」改築の整備計画書を作成した。

なお、共済組合員及び互助会員数は、次のとおりである。

(昭和57年3月31日現在)

区 分	共 済 組 合 員			被 扶 養 者	互 助 会 員
	男	女	計		
現 職	13,253	8,563	21,816	29,382	20,743
任 意 継 続	463	570	1,033	740	1,006
合 計	13,716	9,133	22,849	30,122	21,749

第2節 共済組合福島支部 運営審議会委員等

1 共 済 組 合

(1) 共済組合の役員は、次のとおりである。

(ア) 支部運営審議会委員 57 3.31現在

役 職 名	氏 名	勤務所及び職名
財 務 課 長	坂田 重勝	
義 務 教 育 課 長	添田 信一	
県小学校長会代表	鈴木 栄	福島二小校長
県中学校長会代表	中沢 禧夫	大鳥中校長
県高等学校長協会代表	平山 正秋	福島女子高校長

役 職 名	氏 名	勤務所及び職名
県教職員組合代表	住谷 圭造	書記次長
"	荒井 源興	中央執行委員
"	作田 幸子	婦人部長
県高等学校教職員組合代表	猪狩 次夫	執行委員長
県立高等学校教員組合代表	高橋 重久	福島西女子高校教諭

(イ) 支部監査員 57 3.31現在

役 職 名	氏 名	勤務所及び職名
高等学校教育課長補佐	遠藤 剛	
県高等学校教頭会代表	石川 義光	福島高校教頭
県小学校長会代表	佐竹 虎男	若松城西小学校長

2 互 助 会

(1) 互助会の役員は、次のとおりである。

(ア) 理事等 (任期56.6.1~57.5.31)

役 職 名	氏 名	勤務所及び職名
理 事 長	邊見榮之助	県教育委員会教育長
副 理 事 長	齊藤 馨	県教育庁教育次長
"	会田 長栄	県教職員組合中央執行委員長
常 務 理 事	佐瀬 敬	県教育庁福利課長
理 事	伊勢呂裕史	県教育庁総務課長
"	平山 正秋	県立福島女子高等学校長
"	渋谷靖十郎	福島第四中学校長
"	鈴木 栄	福島第二小学校長
"	猪狩 次夫	県高等学校教職員組合執行委員長
"	高橋 重久	県立福島西女子高等学校教諭
"	清野 和彦	県教職員組合書記長
"	住谷 圭造	県教職員組合書記次長
"	荒井 源興	県教職員組合中央執行委員
"	作田 幸子	県教職員組合婦人部長

(イ) 監 事

役 職 名	氏 名	勤務所及び職名
監 事	鈴木 健一	福島市立福島第四小学校長
"	早坂 達彦	県教職員組合副中央執行委員長
"	須田 幸光	県立図書館総務課長

(ウ) 評 議 員 (任期56.6.1~57.5.31)

役 職 名	氏 名	勤務所及び職名
評 議 員	小林 四郎	県教育庁義務教育課主幹
"	田崎 宗壽	県教育庁高等学校教育課主幹
"	前川 善明	県教育庁社会教育課主幹
"	皆川 郁夫	県教育庁文化課主幹